

## 世界水準での独自性とスピード化に溢れる 「小さな世界企業」

1844年に創業し、特殊薄板ガラスの製造技術を発展させ、現在は、ファインガラスの総合メーカーとして、ライフサイエンス分野と光・電子事業分野において事業展開し、米国にも拠点を持つ。主な製品は、日本市場の70%のシェアを誇る顕微鏡用カバーガラス・スライドガラス、医療・理化学用ガラス、病理・細胞診検査業務支援システム、ディスプレイ用基板ガラス、一般電子工業用ガラス、光学部品用精密加工ガラス、等。

●所在地 大阪府岸和田市八阪町2-1-10

●設立 1844年

●電話/FAX 072-422-4545/072-436-2265

●資本金 9,000万円

●URL <http://www.matsunami-glass.co.jp>

●従業員数 280人

●代表者 代表取締役社長 松浪 明



### 地域雇用と地域での産学連携による技術革新で地域経済の活性化

1844年の創業以来、岸和田市で事業を継続。和泉市の工場を閉鎖し、岸和田市のゆめみヶ丘に新工場を新設。従業員のほとんどが市内及び近隣都市に在住。新工場においても隣接の近畿職業訓練大学校等、地元から従業員を採用予定。近隣の（地独）大阪産業技術研究所、関西の国立大学医学部とオープンイノベーションを実施し、地域経済の活性化に貢献。地元の高校からも正社員採用を継続している。2018年には経済産業省の地域未来牽引企業に選定されている。



ゆめみヶ丘新工場

### マツナミUSAを設立、EU進出に向けISO13485取得

2013年に医療機器品質マネジメントシステムのISO13485を取得。同時にEU加盟国の基準を満たすCE-IVDマークを宣言される。米国ワシントン州に主に米国販売を目的としたマツナミUSAを設立。海外売上は5年間で約3倍近く成長。高機能カバーガラスは、米国大手製薬・医療機器メーカーのOEM製品として同社1社のみが生産・供給。スライドガラスに直接印字するプリンターで国内市場80%以上のシェアを持つ。さらに輸出が急速に拡大、同時にスライドガラスの海外販売も加速している。



海外販売用スライドガラスとプリンター

### 5G通信関連事業等へ積極的な展開とそれを支える分業を推進

光・電子材事業の新しい取組として、2020年より本格的に運用される5G通信関連事業に参画し、次年度の事業展開が決定している。また以前から取組んでいるガラスへの光学樹脂ナノインプリント技術については、次世代ディスプレイ開発及び光通信技術事業からの関心も強く、今後拡大していくビジネスとして注力している。同社としては、常に新しい取組を行えるようなビジネススタイルを推進。人と協働作業するロボットを導入し生産性の向上と、人出不足を解消。今後はAIで分業が加速し、人がアイデア創造に専念することを目指す。



日経新聞1面に掲載されたロボット